

## 読売新聞 きょう（9月8日）のイチ押し

### 1面・2面 海洋プラごみ調査に指針

プラスチックなど海洋ごみの実態把握のため、日米欧などの研究グループが、国際的な調査指針の策定に乗り出すことがわかりました。将来的には、指針に基づいて測定した海洋ごみの「汚染地図」を作成し、各国政府が進める対策の検証に役立てます。

- ★ 現状では、調査項目や手法に統一基準がなく、調査結果の比較や共有が困難です。例えば、ごみの量で、重さに基づく報告と個数に基づく報告が混在しています。
- ★ 大阪で開かれた主要20か国・地域（G20）の会議では、2050年までにプラスチックによる新たな海洋汚染をゼロにする目標が設定されました。対策を進めるには、信頼できるデータが欠かせません。

### 社会面 川遊び 小2と祖父死亡、姉2人も重体

大阪府高槻市の芥川で、小学生のきょうだい3人と73歳の祖父の計4人が溺れました。7歳の男児と祖父が死亡。姉の9歳と11歳の女児2人も意識不明の重体となっています。

- ★ 現場は河川敷が、川に下りられるように階段状に整備されていましたが、川の中央あたりは急に深くなっていました。男児と祖父が見つかったのは水深2メートルの川底でした。
- ★ 厳しい残暑に見舞われたこの日、愛知県豊田市の矢作川でも女児2人が死亡するなど、各地で水の事故が相次ぎました。

#### 他紙と比べて

背中に電動冷却ファンが付いた作業着をご存知ですか？ 今夏は、街着としても着られる男女兼用デザインのもので発売され、人気が拡大しているそうです。きょうの「えいご工房」では、この話題について英語で紹介しました。機器や服飾に関する表現がいろいろ出てきます。日曜日、読売新聞を広げて、英語の学び直しに挑戦しませんか。